

令和7年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和8年3月18日
札幌市立太平中学校

1 学校教育目標

<p>豊かな心を持ち、たくましく生きる生徒の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ○健康で自主性に富み、たくましい実践力をもつ人間の育成(強い心と体、たくましい実践力) ○創造的な知性と豊かな情操をもつ人間の育成(創造的な知性、明るく豊かな心) ○自他を尊重し、協力して理想の実現に努力する人間の育成(認め合い、励ましあって、目標達成のために努力する)
--

2 本年度の重点目標

<p>想像力あふれる学校の創造～想像力を広げよう～</p> <ul style="list-style-type: none"> ①創意ある教育課程の編成・実践・評価・改善を目指す学校 ②生徒一人一人が安心して生き生きと活動する学校 ③教師としての専門性の向上と全教職員の参画による学校 ④保護者や地域、パートナー校との連携を一層深め、地域に開かれた学校

3 自己評価結果(A:十分達成できた、B:おおむね達成できた、C:少し不十分だった、D:不十分だった)に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
学校経営	学校教育目標・学校経営の重点目標のもと、想像力のある生徒を育てることができているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校教育目標や学校経営の重点などが保護者地域により伝わるよう発信の工夫を行う。 ○ 教職員の教育課程への意識が高まり、子どもの育ちにより効果的な学習活動や内容を考え実践することができた。 	A	A
学校関係者評価委員による意見		<ul style="list-style-type: none"> ・学校だよりにたくさんの写真が掲載されるので、学校の取組や生徒等の活動の様子が伝わってくる。 ・「すぐー」を使用して配信など、今の時代に合ったPRができていていると思う。 			
学力	学ぶ力を伸ばすための指導・支援(指導計画、指導方法、評価・評定)を行うことができたか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 太平中学力向上プロジェクトを立ち上げ、校内研修等で学ぶ力を伸ばす取組を進めている。 ・ オンラインでの授業配信や校内教育支援センター(支援ルーム)の活用により、個に応じた多様な学びの実現に取り組むことができた。 ・ 指導と評価の一体化を進め、生徒の自己学習の力を伸ばす指導法の工夫・改善に取り組む。 	A	A
	学ぶ意欲の向上と学習習慣の確立のための指導・支援を工夫・実践することができたか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒が「わかる」「たのしい」と感じる授業の工夫や、振り返りによる自己調整の力を高めることで、学びに向かう態度を育てたり学習意欲を向上させたりする指導を実践する。 ・ AAR を意識した課題探究的な学習を取り入れ、生徒が主体的に学びに向かい、学んだことを実社会に生かすことができる学習を実践する。 	A	A
	将来の自分の自己実現につながるキャリア学習や進路学習・進路指導を行うことができたか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職業講演会、職場体験、上級学校訪問による、3年間を通した系統的な学びにより、生徒の勤労観・職業観を育てることができた。 ・ キャリア教育を通じて考えた将来の生き方と卒業後の進路を結び付けた進路学習・進路指導を充実させていく。 ・ 将来の目標をもたせるとともに、進路実現に向けて早い段階から情報を提供する。 	A	A
学校関係者評価委員による意見		<ul style="list-style-type: none"> ・学ぶ意欲の向上と学習習慣の定着を学校全体のテーマとして地道に取り組んでほしい。 ・一人一人に向き合い、できるだけ寄り添って支援していると感じている。 ・家庭学習の時間が減っており、スイッチが入らない子にどうすべきかを考えていく必要がある。 			

健やかな体	日常から細かな指導・支援を行い、生徒の基本的な生活習慣の確立を図っているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・きまりやマナーなどを大切にし、規律ある生活を送ることができるよう指導・支援を行うことができた。 ・教職員が目指す子どもの姿を共有し、学校全体でチームとして生徒の指導・支援に取り組むことができている。 	A	A
	体力向上に向けた効果的な取組を工夫することができたか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・体育の授業や学年体育大会、昼休みに体を動かす遊びなど、生徒が楽しく体を動かす環境を整えるよう努めることができた。 ・学年体育大会やスキー学習など、体力向上だけでなく、運動を通して仲間と協力したり団結したりする力を伸ばすことができた。 	A	A
	健康や安全、食に対する意識を高める指導・支援を行うことができたか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が安全に気を付け、健康的な生活を送ろうとする態度が育ってきている。 ・給食だよりや昼の放送などを活用した食指導を行うことができた。 	A	A
学校関係者評価委員による意見	<ul style="list-style-type: none"> ・学校全体が落ち着きのある教育環境になってきている。教職員、生徒、保護者が一体となって現状を継続してほしい。 ・札幌市のスキー学習実施校が減少している中、雪国育ちの強みを生かしたスキー学習を残しており、生徒一人一人の日々の体調についても気が配られていると感じる。 				
豊かな心	道徳の学習を通して、温かい心や思いやりの心、勤労奉仕の心を育てることができたか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳の授業での学びを日常生活の中で実践につなげていく。 ・外部人材による講演などを今後も継続し、多様な価値観を通して生徒の道徳性や豊かな心を育てていく。 	A	A
	あいさつや言葉づかいなどを通して、温かい人間関係や明るい学校、地域をつくることができたか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・パートナー校とのオンラインでのあいさつ運動や地域と一体となったハピースマイル運動などを通して、小中や地域とのつながりを深め、あいさつの輪を広げることができた。 ・あいさつや温かい言葉で、さらによりよい人間関係や明るい地域づくりを進めていく。 	A	A
	いじめを許さない心や命を大切にすることを育てたり、相談できる場を設けたりし、一人一人が大切にされていると感じる学校づくりを進めることができたか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・教育相談やシャポテンログ、ダイアリーなど、子どもが相談しやすい環境づくりをさらに充実させていくとともに、今後も生徒が相談しやすい教師との関係性の構築に努めていく。 ・いじめアンケートや生徒の相談に対して、いじめ防止対策会議で迅速に情報共有・対策を行い、組織的な対応を進めることができた。 ・「自他を大切にすること」、「命を大切にすること」、「いじめを許さない心」を育てる教育を今後も大切に継続していく。 	A	A
学校関係者評価委員による意見	<ul style="list-style-type: none"> ・「いじめはあるもの」と全教職員が認識し、組織的に早期発見・早期対応に努める体制を維持してほしい。 ・難しい課題の中、工夫して様々な問題を拾い上げようとする努力が見て取れる。 ・組織的にいじめ対策や対応を行っており、いじめを拾い上げる体制がよくできている。 				
家庭・地域	保護者が子どもの育ちを感じ、連絡・相談ができる、家庭と連携した安心・安全の学校づくりを進めることができたか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの連絡・相談に適切かつ真摯に向き合い、信頼関係の構築に努めていく。 ・参観できる行事を早い段階で伝えることで、様々な行事や活動を通して子どもの育ちを感じてもらえることができた。 ・学校だより、学校 HP、すぐーるなどで学校の様子や連絡などの情報発信を続けていく。 	A	A
	地域の活動や SDGs 教育を通して、地域や社会への関心を高め、参画する態度を育成しているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全総決起集会、社会を明るくする運動、ハピースマイル運動や地域イベントでの吹奏楽部の演奏など、地域とのつながりを深め、子どもの社会参画の意識を高めていく。 ・活動の狙いや様子を発信することで、地域や保護者の関心を高め、より連携して取り組んでいく。 	A	A

	小学校と連携して、小中9年間で子どもを育てる取組を進めているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・小中合同研修会でお互いの課題やよさ、共通して取り組むべき教育課程などについて子どもの姿を通して交流することができた。今後、実践に向けて取り組みを進めていく。 ・「子どもの声を聞く」ことを大切にされた自治活動の実現に向けて小中での共通意識をもって取り組んでいく。 	A	A
学校関係者評価委員による意見	<ul style="list-style-type: none"> ・初挑戦した「ハッピースマイル運動」の取組を高く評価している。継続と発展を期待している。 ・小中合同研修会を大切に、学校間の垣根をこえた実践的な取組を継続してほしい。 ・HPによる情報発信がより増えることを期待している。 				
今日的な課題	学校行事や生徒会活動を通じて、望ましい集団や自治的な集団をつくることのできているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事や学級活動などへの積極的な取組を通して、望ましい集団づくりができています。 ・さっぽろっ子サミットなどを通して、「子どもの声を聞く」ことを大切にされた学校運営を行っていく。 ・行事や生徒会活動のねらいを明確にし、生徒が目標や目指す自分の姿をもち、主体的に活動したり、成果を感じたりできるよう、支援を行う。 	A	A
	環境整備・環境美化、安心・安全な学校づくりを十分にしているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・PTAの花壇整備やこまめな学校施設の点検・修繕を今後も継続していく。 ・生徒の学習の成果物を廊下に掲示することで、お互いのよさを認め合ったり、他者の学びを自己に取り入れたりできる学習環境をつくることのできた。 ・熊の出没や飛翔体など多様な事態に対応できるよう、危機管理マニュアルを整え、安心・安全な学校づくりを進めている。 	A	A
	教員の資質・能力の向上	B	<ul style="list-style-type: none"> ・服務規律やいじめ対応、適切な指導の在り方等について校内での研修を設けたり、教育の時事的な課題に触れる機会を増やしたりする。 ・校外での研修を教育課程や指導法の改善に還元させるよう取組を進めていく。 	A	A
	働き方改革により業務負担軽減に努め、子どもと接する時間を十分に設けることのできているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・校務のDX化を今後も継続的に進めていく。 ・自分の校務や役割を通して、学校全体の業務改善につながる工夫を進めていく。 	A	A
	インターネットやSNSの活用などネットモラル教育を充実させているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・体系的なネットモラル教育を計画・推進し、ネットに関する犯罪やトラブルに対する知識だけでなく、実践力も育てていく。 	A	A
	部活動を通してよりよい人間関係や自己肯定感、責任感などを育てる多様な学びの場となっているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も札幌市のガイドラインを遵守して部活動に組んでいく。 ・子どもの特性に配慮した活動をする一方で、各部活動の方針や活動に対する理解・協力につながる説明の場や見学など、保護者が部活動に関わりをもつことのできる機会を増やす。 	A	A
学校関係者評価委員による意見	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価と改善の方策をこれからもしっかり実践して行ってほしい。 ・ネットモラルの問題は家庭内の問題とを感じるが、学校と家庭が手を取り合ってネットモラル教育の推進やトラブルの解決に向かってほしい。 ・様々な課題がある中で、改善策や解決への糸口を見つけて、前向きに努力していると感じる。 				

※赤→昨年度より評価が向上している。青→昨年度より評価が低下している。